

製品安全データシート

1. 製品名及び会社情報

会社名 : 富士技研工業 株式会社
 住所 : 埼玉県戸田市氷川町 3-13-2
 担当部門 : 技術部
 電話番号 : (048) 434-6401
 F A X 番号 : (048) 434-6404
 作成・改定 : 2005年7月20日
 改定日 : 2009年12月15日

整理番号 08FJ13

製品名 FJ クリーナー DF

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	火薬類	分類対象外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外
	高压ガス	分類対象外
	引火性液体	区分外
	可燃性固体	分類対象外
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性液体	区分外
	自然発火性固体	分類対象外
	自己発熱性化学品	区分外
	水反応可燃性化学品	分類対象外
	酸化性液体	区分外
	酸化性固体	分類対象外
	有機過酸化物	分類対象外
	金属腐食性物質	区分2

健康に対する有害性	急性毒性（口径）	区分4
	急性毒性（経皮）	分類できない
	急性毒性（吸入：ガス）	分類対象外
	急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
	急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）	分類できない
	皮膚腐食性・刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分2A-2B
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性 （単回ばく露）	区分3（気道刺激性）
	特定標的臓器・全身毒性 （反復ばく露）	分類できない
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境急性有害性	分類できない
	水生環境慢性有害性	分類できない

ラベル要素

絵表示または、シンボル



注意喚起後 腐食性物質

危険有害性情報

- 分類の名称 : 急性毒性物質・腐食性物質
- 危険性 : 可燃性、爆発性はないがアルカリに接触すると発熱する。
- 有害性 : 皮膚、粘膜に触れると皮膚組織を侵し皮膚炎を起す可能性有り。
- 環境影響 : 知見なし。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

(化審法 安衛法)	C A S N O	構造式	含有量
(7)-129	25322-69-4	HO [CH(CH ₃)CH ₂ O] _n CHCHO (CH ₃) [CH ₂ CHO(CH ₃)] _n H	0.5～1.5%
8-55	9005-67-8	H(OCH ₂ CH ₂) _{C_n} H _m O _l -R-(C ₂ H ₄ O) _m H	0.5～1.5%
(2)-407	111-76-2	n-C _m H _l -O-C _x H _y OH	35～45%
(7)-97	9002-92-0	CH ₃ -(CH ₂) _m CH-(CH ₂) _n -CH ₃ (CH ₂ CH ₂ O) _x [CH ₂ CH(CH ₃)O] _y H	10～20%
2-1582	75-75-2	C _n H _m XO _l H	25～35%

国連分類 : クラス 8 (腐食性物質)

国連番号 : 2586

PRTR : 対象外

4. 応急措置

目に入った場合 : 直ちに多量の水で 15 分間以上洗い流した後、医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合 : 付着した衣服等は直ちに脱ぎ、付着又は接触部を多量の水で洗浄し多量の水で洗い流す。異常があれば医師の手当てを受ける

吸引した場合 : 鼻をかみ、よくうがいをし、医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合 : 多量の水を飲んだ後、牛乳や卵白等を飲む。吐くことは侵された胃壁の損傷につながるために行わない。処置後医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

消化方法 : 発火性・引火性なし。消火にあたる者は、顔全体被覆も含めた全体保護衣を着用する。

消化剤 : 水 (特に霧状)、粉末等。

6. 漏出時の措置

保護具を着用し、水酸化ナトリウム、炭酸ナトリウム等で中和し、多量の水で洗い流す。なお、このときの排水には有機物が含まれているので、廃棄上の注意を参考にすること。

7. 取扱及び保管上の注意

取扱 : アルカリに接触すると発熱する。保護具を着用し、作業終了後は洗顔・手洗いを励行する。

保管 : アルカリ・金属から離しておく。腐蝕及び漏洩のない構造とする。

8. 暴露防止及び保護処置

管理濃度 : 決められていない

許容濃度 : 知見なし

設備対策 : 特になし

保護具 : 呼吸用保護具 : 必要な際使用する。

保護眼鏡 : //

保護手袋 : //

保護衣 : // (前かけ等)

その他 : // (長靴等)

9. 物理的及び化学的性質

外観等 : 黄色透明溶液

液性 : 強酸性

沸点 : —

融点 : —

比重 : 1.03

揮発性 : 低い (酢酸ブチルを100として相対蒸発速度6以下)

溶解度 : 水、アルコールによく溶解する

蒸気圧 : —

その他 : 微亜硫酸臭がある。

引火点 : 無し

発火点 : 無し

可燃性 : 無し

発火性 : 無し

酸化性 : 無し

自己反応性	: 安定 (長期間の酸素接触で、成分分離)
爆発性	: 無し
粉塵爆発性	: 無し

1 0. 安定性及び反応性

安定性・反応性	: 高温時に亜硫酸ガスを発生することがある。
その他	: 金属を腐蝕して水素ガスを発生する。

1 1. 有害性情報

皮膚腐蝕性	: 有り。皮膚に触れると皮膚組織を侵し、皮膚炎を起す。
刺激性	: 有り。
感作性	: まれに皮膚にかぶれを生じることがある。
急毒性	: 知見なし
亜急毒性	: 〃
慢性毒性	: 〃
がん原性	: 〃
変異原性	: 〃
生殖毒性	: 〃
催奇形性	: 〃
その他	: 〃

1 2. 環境影響情報

分解性	: 知見なし
蓄積性	: 〃
魚毒性	: 〃
その他	: 〃

1 3. 廃棄上の注意

付着の恐れがある容器は十分洗い流した後に廃棄する。廃液は水を加えて希薄な水溶液とし、pHを確認後排水処理施設等で処理を行う。この場合多量の有機物を含むために活性汚泥等の処理を行ってから排出する。廃水処理施設のない場合には産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

1 4. 輸送上の注意

容器の破損に注意して輸送する。アルカリとの接触を避ける。

15. 適用法令

危険物船舶輸送及び貯蔵規則	: 第3条危険物告示表第3腐蝕性物質
航空法	: 施行規則第194条危険物告示表第11腐蝕性物質 Q 等級2
港則法	: 施行規則第12条危険物 (腐食性物質)

16. その他

調査文献: 試薬ガイド	(改定 1992)
12093 化学商品	(化学工業日報社 1993)
毒劇物基準関係通知書	(改定増補版 1991)
化学大辞典	(第30版 共立出版 1991)
貴金属元素の化学と応用	(講談社 1984)
製品安全データシート of の作成指針	((社)日本化学工業会 1992)
安衛法化学物質	(労働省安全衛生部 1991)
化審法化学物質	(通産省)
CAS	(各年)
RTCS	(1985~1988)
危険物便覧	(船舶運送危険物研究会 1989)
産業中毒便覧	(医歯薬出版株)
危険性廃棄物	(東レリサーチセンター)
危険物六法	(中央法規出版)
主要化学2000種動物実験発癌性データ調査レポート	(海外技術資料研究所 1975)
船舶による危険物の運搬基準を決める告示	(運輸省告示 623号 1990/12)
危険物ハンドブック	(ホンメル 1987)
Chemical Safety Data Sheets	(ROYAL SOCIETY OF CHEMISTRY)

※注意: 記載内容は現時点で入手できる試料、情報、データに基づいて作成しておりますが、必ずしも充分ではないので取扱には充分注意して下さい。